⑸　技術提案の評価指標（判定方式）　技術提案の評価指標は次のとおりとし、提案された内容について提案者の優劣を相対的に評価する。

①　優　設計図書、共通仕様書、施工管理要領等の一般的基準による事項に加え、提案の具体性や新規性が認められる内容のもので、数値的根拠や検討結果が示されており、提案内容の信頼性が高いと認められる内容のもの。

②　良上　「優」に比べ、やや劣ると認められる内容のもの。

③　良　設計図書、共通仕様書、施工管理要領等の一般的基準による事項に加え、提案の具体性や新規性が認められる内容のもの。

④　良下　「良」に比べ、やや劣ると認められる内容のもの。

⑤　可　設計図書、共通仕様書、施工管理要領等による事項は述べられているが、提案の具体性も特段の新規性も認められない内容のもの。

⑥　不適格　設計図書、共通仕様書、施工管理要領等の一般的基準を満たしていない内容のもの。または、所定の枚数、提案数を超えているもの。

⑹　技術評価点の付与方法　評価点の付与方法は、評価者が評価指標に基づき判定した下記の項目別配点で評価し付与（判定方式）する。

㋐　施工体制

・本工事を適正に実施するための施工体制と期待できる効果を含め記述
・評価指標により優／良上／良／良下／可／不適格を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。
・技術評価点（40点）優40点・良上30点・良20点・良下10点・可０点・不適格

㋑　品質管理

・アーチリブの施工精度を高めるために重要と思われる対策について、期待できる効果を含め記述
・評価指標により優／良上／良／良下／可／不適格を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。
・技術評価点（20点）優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不適格

㋒　安全管理

・工事全般に関する安全対策について期待できる効果を含めて記述
・評価指標により優／良上／良／良下／可／不適格を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。
・技術評価点（20点）優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不適格

㋓　環境対策

・騒音・振動に関して周辺環境に配慮すべき項目・対策について期待できる効果を含め記述
・評価指標により優／良上／良／良下／可／不適格を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。
・技術評価点（20点）優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不適格

⑺　入札参加者の選定方法　技術提案の施工計画の内容により、満点100点の技術評価点を付与し、技術評価点が50点以上の者を入札参加者として選定

⑻　落札者の決定方法　競争参加申請者に技術提案を提出させ、技術提案の施工計画を評価し、技術評価点が50点以上の者を選定し、あらかじめ提出していた入札書を開札し、「契約制限価格」の範囲内の入札額で最も総合評価点の高い者を落札者とする。

総合評価点数の算出方法は、次のとおりとする。

①　技術評価点：標準案による満点100点とし、３⑹による。

②　価格評価点：０（０≦Ｐ＜0.5Ｌ）
((Ｐ／Ｌ×100)－50)／(Ｘ／Ｌ－0.5)（0.5Ｌ≦Ｐ＜Ｓ）
100－200（Ｐ／Ｌ－Ｘ／Ｌ）（Ｓ≦Ｐ≦1.0Ｌ）

ここに、Ｐ：入札書に記載の価格（入札価格）　Ｌ：契約制限価格　Ｘ：調査基準価格以上の最低入札価格　Ｓ：調査基準価格

ただし、入札価格が全て調査基準価格を下回る場合は、Ｘ／ＬをＳ／Ｌとする。

③　総合評価点：技術評価点×0.5＋価格評価点×0.5

⑼　３⑻において、総合評価点の最も高い者が２人以上あるときは、くじ引きにより落札者を決定する。

⑽　配置技術者に関する事項　技術評価資料に記載された配置予定技術者の配置が困難となった場合に、評価の対象とした配置予定技術者の評価を満たさない技術者が配置された場合は、請負工事成績評定点を10点減点及び契約書に基づく請負代金額の減額を行う。また、契約違反としての措置を講ずる場合がある。

⑾　技術提案の履行に関する事項　受注者の責により入札時の提案内容を満足できない場合は、その程度により請負工事成績評定点を10点減点及び契約書に基づく請負代金額の減額を行う。また、契約違反としての措置を講ずる場合がある。

⑿　技術提案にあたっての留意事項　技術提案書の作成にあたっては、特記仕様書、設計図書等に記載の制約条件等を十分に確認のうえ作成すること。条件を満足しない提案については、不適格とする。

４　入札手続等

⑴　担当部局　〒105―6011 東京都港区虎ノ門４－３－１　城山トラストタワー11Ｆ
中日本高速道路株式会社　東京支社　総務企画部　契約チーム　電話03―5776―5600

⑵　入札説明書等の交付期間、場所及び方法

①　交付期間　平成27年９月１日（火）から平成27年11月２日（月）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日10時00分から16時00分まで。

②　交付場所　４⑴に同じ。

③　交付方法　入札説明書、入札公告の写し、契約書案、入札者に対する指示書、図面、仕様書、単価表等（以下「設計図書等」という。）はＣＤ－Ｒにより無料で交付する。

⑶　申請書、確認資料及び参加希望者が共同企業体を構成する場合の共同企業体協定書案及び技術提案（施工計画）並びに入札書（以下「申請書等」という。）の提出期間、場所及び方法　入札参加希望者は、建設業法施行規則（昭和24年建設省令第14号）第21条の４に規定する総合評定通知書の写し（最新のものであって、審査基準日が、入札日の１年７月前の日以後の者に限る）、申請書、確認資料及び参加希望者が共同企業体を構成する場合の共同企業体協定書案及び技術提案（施工計画）並びに入札書（以下「申請書等」という。）を提出するものとする。

①　提出期間　平成27年９月１日（火）から平成27年10月16日（金）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日10時00分から16時00分まで。ただし、入札書に限定した扱いとして平成27年11月２日（月）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日10時00分から16時00分までとする。

②　提出場所　４⑴に同じ。

③　提出方法　郵送すること。（郵便書留に限る。）

⑷　入札書の提出　入札書は封筒に封印したものを提出すること。入札書が提出期日までに提出されない場合、競争参加資格がないものと判断する。

①　提出期間　平成27年９月１日（火）から平成27年11月２日（月）まで。

②　提出場所　４⑴に同じ。

③　提出方法　４⑴記載する部署へ郵送すること。（提出期限までに必着のこと。）なお、電送によるものは受け付けない。

⑸　技術提案のプレゼンテーション　技術提案のプレゼンテーションを次の要領で実施する。

①　開催時期　平成27年11月５日（木）から平成27年11月６日（金）のいずれかを予定

②　開催方法　技術提案の内容説明（20分以内）後に質疑応答（15分程度）を行う。

③　その他　申請者別のプレゼンテーション日時及び場所は追って通知する。

⑹　開札（入札執行）の日時及び場所

①　開札日時　平成27年12月18日（金）10時00分

②　開札場所　中日本高速道路株式会社
東京支社　７階入札室
ただし、すべての競争参加者において競争参加資格があると認められ、かつ、入札参加者として選定された場合についての開札の日時については、次に示すとおりである。

③　開札日時　平成27年11月30日（月）10時00分